木々と共にくらす家

敷地は豊かな雑木林がある自然公園に隣接した南傾斜地である。木々を視覚的に取り込むだけでなく、ここでの日常の体験や、季節に応じた温熱環境も木々と共にあることによって生まれる暮らしを提案した。

敷地南側の林を視覚的に最大限取り入れつつ隣家や公園越しのマンションが気にならない構成とした。具体的にはリビングに平面的な角度をつけ、隣家と異なる高さで雑木林の中へ浮かべる方法をとった。これにより空間に多様な方向性が生じ、木々に囲まれたような場が生まれる。

レベルの異なるリビングとダイニングをひな壇のような階段と屋外のテラスがつなぎ、建築内外で雑木林の中を歩くような回遊性を創り出している。合理的な給排水のために接道レベルにまとめられた水廻りは、玄関からリビングまでをつなぐトンネルのようなタイトで光が抑制された空間を創る。ここをくぐり抜ける体験が上下左右に広がる緑の空間を強調する。

落葉樹は適度な日射制御を行い、この住宅の放射温熱環境を手助けしてくれる。これによって夏はさわやかな風、冬は穏やかな日差しと共にある日常のくらしが生まれる。

ここでの木々を間近にしたくらしは、室内環境は室内だけで完結することはなく、必ず屋外環境と共にあることを、日常のくらしの中で自ずと気付く機会を与えてくれる。

リビングからダイニングを望む

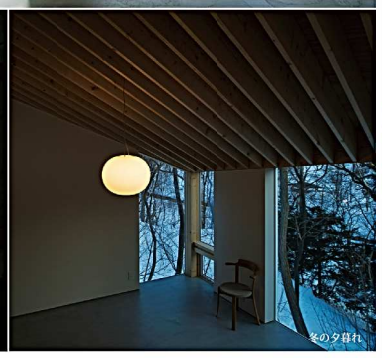
テラス

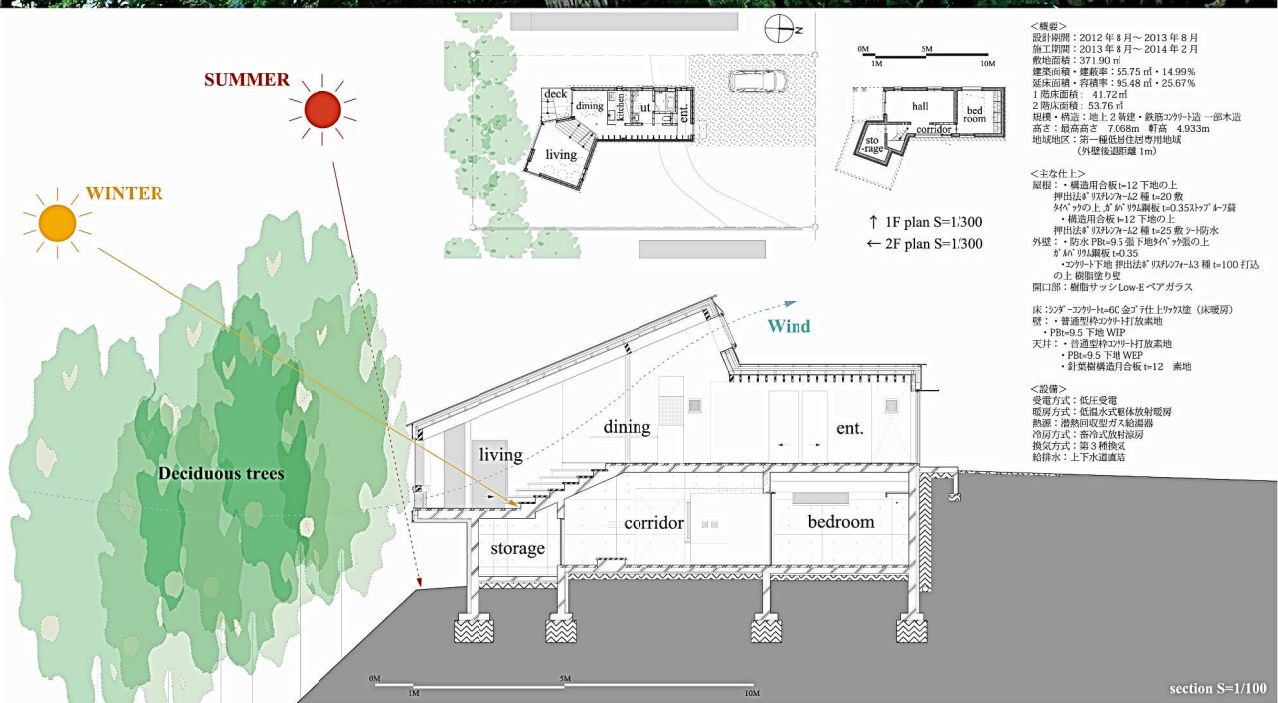
冬のリビング

玄関からリビングへ

夏の外観

1階より


冬の夕暮れ



＜概要＞
設計期間：2012 年 8 月～ 2013 年 8 月
施工期間：2013 年 8 月～ 2014 年 2 月
敷地面積：371.90 ㎡
建築面積・建蔽率：55.75 ㎡・14.99％
延床面積・容積率：95.48 ㎡・25.67％
1 階床面積：41.72㎡
2 階床面積：53.76 ㎡
規模・構造：地上 2 階建・鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 一部木造
高さ：最高高さ　7.068m　軒高　4.933m
地域地区：第一種低層住居専用地域
（外壁後退距離 1m）

＜主な仕上＞
屋根：・構造用合板 t=12 下地の上
押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ2 種 t=20 敷
ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞの上 ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.35ｽﾄﾗｯﾌﾟﾙｰﾌ葺
・構造用合板 t=12 下地の上
押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ2 種 t=25 敷 ｼｰﾄ防水
外壁：・防水 PBt=9.5 張下地ｻﾍﾞﾂｶ張の上
ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.35
・ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ3 種 t=100 打込の上 樹脂塗り壁
開口部：樹脂サッシ Low-E ペアガラス

床：ｼﾝﾀﾞｰｺﾝｸﾘｰﾄt=6C 金ｺﾞﾃ仕上ｳｯｸｽ塗（床暖房）
壁：・普通型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放素地
・PBt=9.5 下地 WTP
天井：・普通型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放素地
・PBt=9.5 下地 WEP
・針葉樹構造用合板 t=12　素地

＜設備＞
受電方式：低圧受電
暖房方式：低温水式躯体放射暖房
熱源：潜熱回収型ガス給湯器
冷房方式：蓄冷式放射涼房
換気方式：第 3 種換気
給排水：上下水道直結